

幼児初宮詣り（十月吉日）

初宮詣とは、誕生後初めて神社に参ることでお宮参りともいわれています。お子様の無事の誕生を感謝し、健やかな成長と末長い神様の御加護を祈るとともに、新しい氏子の一人として認めてもらう儀式であります。

一般的には生後百日前後にお参りすると言われますが、その土地々や神社ごとに違いがあります。

当神社では、例年秋の例大祭の日にこの一年に誕生されたお子様を中心にお祈祷を行つてきました。しかし様々な事情で他の日をご希望の場合でもご相談に応じています。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策・三密回避のため例大祭当日の合同祈祷は取りやめ、個別で対応させていただきました。

お詣り頂きました皆様からお写真の提供、御意見をいただきました。

「コロナ禍の中、今年は初宮詣ができないと思っていましたが、三密に配慮いただきながら無事にお参りすることができて嬉しく思っています。」

「お祭りもなく少し寂しい雰囲気でしたが、子どもの健康で元気な成長をお願い出来て良かったです。」

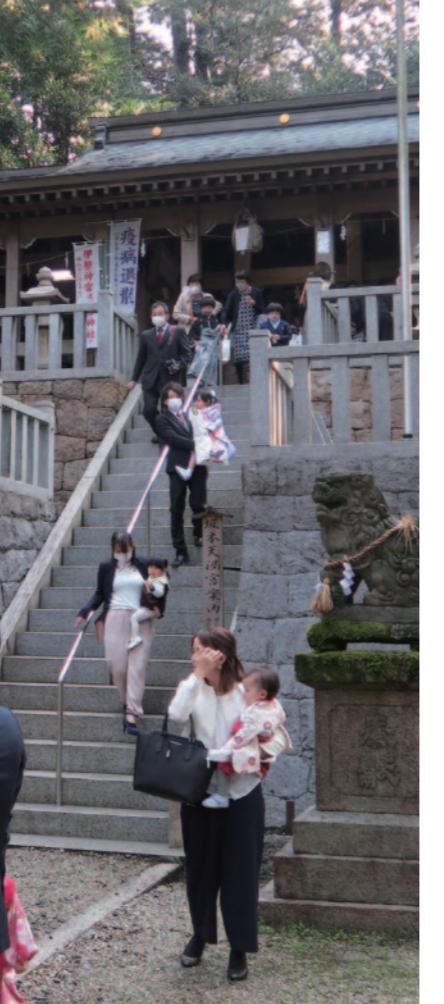
「これからも、子供の成長を神様に報告し、末永くお見守りいただけるよう神社を参拝したいと思います。」

「諏訪神社で安産祈願をして頂き、無事出産、こうしてお宮参りも行うことが出来ました。」



七五三詣で（十一月八日）

昔は幼少期に亡くなる子どもが多かつたので、子どもの親や家族たちは三・五・七歳の節目の年まで「元気に育つことへの感謝」と「今後も無事成長できることへの祈り」のため近隣の神社（氏神様）にお参りに行きました。これが七五三の始まりと言られています。お子様のこれから幸多き人生を願い、末永い氏神様のご加護を



祈念する歴史ある神事です。
本年は二十九名のお子様がお参りされました。三密を避けるため、一回の神事の参加人数を減らし三回に分けて斎行しました。

令和二年度 環境整備事業

災害復旧の実施



- 市に要望していた駐車場入口の道路側溝が整備され、安心して駐車場が利用できるようになりました。

**新型コロナウイルス
感染症対策の実施**

- 感染防止に関する掲示パネル、疫病退散のぼり旗等を設置しました。
- 祭事の際は手水舎の柄杓を使用せず、アルコール消毒、検温を行うこととしました。
- 拝殿の本坪鈴（ほんつぼすず）の鈴緒に触れないように巻き上げました。

